

基議厚産第155号
令和3年9月2日

基山町議会
議長 重松一徳様

厚生産業常任委員会
委員長 松石健児

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 基山っ子みらい館の現状について（令和3年7月21日）
（現地視察及び概要説明）

2 調査結果

基山っ子みらい館は、ハローワーク（公共職業安定所）と連携した子育て就労支援施設として、地方創生拠点整備事業交付金の採択を受けた施設であり、子育て交流広場と基山保育園を併設する。

関連する実施事業や各施設の概要説明を受けるとともに、現地視察を行い、管理運営状況等を確認した。

子育て交流広場ではファミリーサポート事業をはじめ、様々な事業が展開され、充実した子育て支援の状況がうかがえた。

交流スペースの使用状況について質したところ、月に14回（稼働率50%）の利用があり、企業とのコラボイベント等が行われている。今後は子育て世代の就労支援に繋がるような活動も行いたい。また、求人情報の閲覧の機会も増え、産業振興課とも連携して、より充実した情報発信を行っていききたいとの説明を受けた。

基山保育園では、各保育室を年齢別の園児数に応じて移動させ、衛生面、安全面を含め、充実した保育環境を確保していた。

施設の維持管理や床・トイレの清掃等はどのように行っているか質したところ、室内外共に定期的な点検は行っているが、日常清掃については保育士や、

みらい館職員が常時行なっているため負担が多くなっているとの説明を受けた。

次に、施設の現状として屋外の遊具をもう少し充実すべきではないか質したところ、園児の遊びの自主性を育むため、小型遊具を揃えているので、児童公園にあるような大きな遊具は必要ないと考えている。現在では遊具がない状況でも、工夫して遊べるように変わってきたとの説明を受けた。

また、施設駐車場への進入路で、利用者と車両が交差しており、送迎時の安全対策に問題がないか質したところ、園児の乗降、車両の運転状況などについて早急に聞き取り調査を行い、検討していきたいとの説明を受けた。

当委員会としては、今後も子育て世代支援の充実を図るとともに、保育士等職員の労務負担の軽減を図ること、また、園児の体力向上を日常の遊びで補える鉄棒等の遊具の設置と、送迎時の車両と歩道の安全確保のための分離フェンスの設置等を検討するよう提案した。